

小倉工業北辰会報

編集兼発行
北九州市小倉北区
白萩町 6 - 1
福岡県立小倉工業高校
北辰会事務局
TEL 093 (571) 1124
FAX 093 (583) 4924

夢の実現に向かって

教 頭 小 山 繁



前任の中野敏昭教頭先生の後任として、本年四月一日蒔田工業高等学校教頭から本校に転任して参りました小山繁（しげし）でございます。北九州市で生まれ育った者として、また工学を学び生涯の職業を工業高校教師を選んだ者として、輝かしい歴史と伝統を誇る小倉工業高等学校で勤務できますことは、誇らしい気持ちと同時にその責任の重さに改めて身が引き締まる思いを致しているところであります。誠に微力ではありますが、一意専心、本校教育活動推進に邁進していく所存ですので、どうぞよろしく願います。

四月七日、平成二十七年入学式が挙行され、二百名の新入生が、この白萩の丘の威風堂々たる門をくぐって参りました。新入生はこの入学式にさぞ驚いたことと思います。入学生を迎える生徒会のはつらつとした挨拶とその動き、厳かな式場、ブラスバンドによる生演奏、凜とした雰

囲気に包まれた空間、これまで経験したことのない緊張感を味合うと同時に小倉工業高校に入学した喜びを改めて感じたのではないのでしょうか。私自身もこのような厳粛かつ華やかな入学式を初めて経験し、伝統という重さを実感した瞬間でもありません。本校が目指す高みは日本一の工業高校であり、生徒の質、職員の意識の高さ、さらに同窓会である北辰会の皆様がそれを実現させる大きな存在と感じているところでもあります。例えば、同窓会の学校教育を支援する考え方が、私がこれまで教師として経験したものとは明らかに質が異なっていると感じています。それは、世界的視野を持った後輩を育成するという強い意志が他の工業高校に比べ格段に高いということです。例えば、「アメリカ・カナダ高校生海外研修」や「日本の次世代リーダー養成塾」といった日本各地のトップ校の生徒が参加する研修への参加に物心両面ご支援を頂いていることを始めとして、教育活動全般のあらゆる場面において経済的・人的ご支援を頂いていること、倉工生の恵まれた教育

環境を北辰会会員の皆様が支えているということ、物語っています。このことが、本校の伝統を支える最大の強みであると実感しているところであります。私が好きな江戸時代の人物の一人に広瀬淡窓（ひろせ・たんそう）がいます。新任教師の頃、淡窓が江戸時代に開いた咸宜園（かんぎえん）の近郊に住んでいたこともあり、多くの方から人物像を聞く機会がありました。そして、その生き方に強く感銘したことを思い出します。咸宜園は当時日本最大の私塾で、全国各地から集まった五千人を超える塾生を育成し、後の日本の代表的な指導者を輩出しました。淡窓は塾生に勉学は勿論、社会性を身につけさせるため厳しい規則を守ること、課し、塾生に寮生活や係活動させました。勉学へのモチベーションを上げるため多くの工夫をした記録も残っています。ただ、進路においては、本人達に自由に選ばせたようです。学者、医者、政治家、日本で最初の写真家など、塾生達は自分が抱いた夢を実現していたのです。二百年前にして既に、現在の学校教育に必要な要素が十分に備わっていたとは驚くばかりです。本校の生徒達にも大きな夢があり、無限に広がる将来があります。その夢を実現させるには本人の強

北辰会入会式 卒業生 200 名入会

去る二月二十八日、平成二十六年卒業生二百名の入会式が行われました。三年前に入会した二百名、その二百名が揃って卒業式の前日に北辰会に入会しました。一人も欠けることなく、全員が揃って卒業

い意志とたゆまない努力に加え、教える教師の高い意識が関係します。いかによい制度ができて、カリキュラムや教育方法が考案されても、意識の高い優れた教師がいなければよい教育は行えません。生徒達の夢の実現と小倉工業高等学校発展のため、全教員一丸となって、教育の質の向上に努める所存です。今後ともこれまで同様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

創立以来の卒業生総数は、二万二千七十五名となりました。入会式後には関東地区（二十二名）、近畿地区（十三名）への就職・進学者と関東支部長・野見山誠一氏（昭和三十六年電気



科卒）、同幹事・塚本（柿原）みのある氏（昭和五十三年工業化学科卒）、近畿支部代表・宮本晴生氏（平成六年設備工業科卒）との懇談会も行われました。尚、四月七日の新入生の入学により在校学生会員は、

三年生 一九三名
二年生 一九六名
一年生 二〇〇名
合計五八九名となっております。

教育振興基金の報告とお願い

月に行う）

三、部活動の奨励五十万円
吹奏楽部、メディア部、無線部、卓球部、野球部、国際研修事業

二十八万二千〇四円
全国工業校長会主催海外研修事業
カナダ（バンクーバー）アメリカ（シアトル）七月二十二日～三十一日 十日間

林 領磨君（工業化学科二年・当時）を派遣した。

五、予備費
ロボット競技全国大会 十八万円
日本ジュニア・ユース 陸上大会 二万円
陸上部インターハイ出場 六万円

この基金は母校にとって貴重な存在となっております。今後ともご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

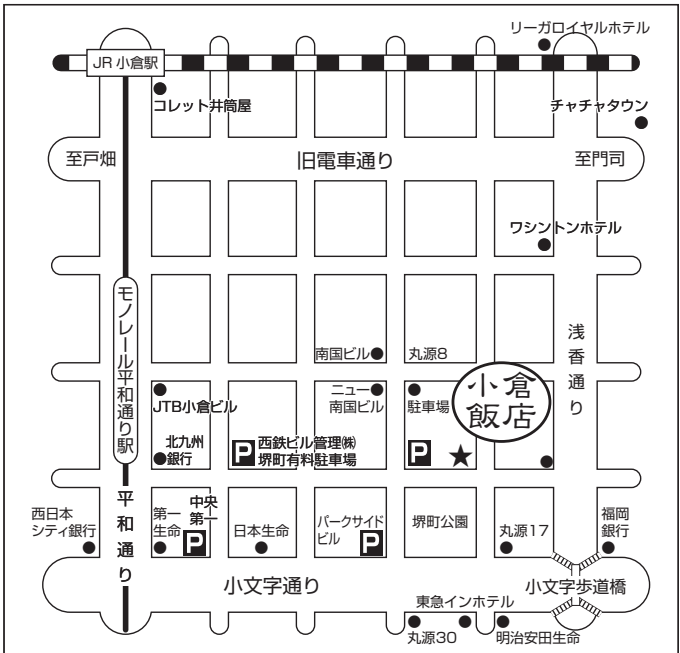
平成27年度 北辰会総会

（当番幹事 平成4年卒）
（当番幹事 平成16年卒）

日 時 平成27年 5 月 31 日（日）
場 所 小倉飯店
北九州市小倉北区堺町 1 - 8 - 14
TEL (093) 521-8631
時 間 ○受付 14時から
○総 会 15時から
○懇親会 16時30分から
会 費 ￥5,000

当番幹事・播磨修氏（平成4年電子科卒 現ボディービルダー 九州チャンピオン 全日本7位）の健康講話があります。

簡単に筋肉をつくる方法や簡単に痩せる方法など、中年の人たちにとって、興味深い話をさせていただきます。



学校だより

サッカー部

▼平成26年度サッカー新人大会北部予選

小倉工業5ー1若松
小倉工業1ー1小倉東
小倉工業3ー0戸畑
小倉工業7ー0荏田工業
(二部順位決定戦)
小倉工業2ー0常磐
(県大会)

空手道部

▼福岡県高等学校空手道新人大会

《団体 形》準優勝
太田光哉(電気2年)

遠山寛大(電子機械2年)
萩尾光貴(電子機械2年)
古矢海渡(電気2年)
金子雄飛(機系1年)
外種子田凌(機系1年)
《個人 組手》ベスト8
金子雄飛(機系1年)
外種子田凌(機系1年)
第52回北九州市民体育祭
空手道大会
《無防具一般・高校の部》
優勝
外種子田凌(機系1年)
準優勝
金子雄飛(機系1年)

陸上部

▼第30回日本ジュニア陸上競技選手権大会
女子ジュニア
100m 第5位
松永莉奈(工業化学3年)
第8回日本ユース陸上競技選手権大会
男子ユース
400mH 第2位
藤井琉成(電子2年)

吹奏楽部定期演奏会へのご協力を感謝致します

平成二十七年二月十一日(水)ウエル戸畑にて第9回吹奏楽部定期演奏会が開催されました。開催にあたり北辰会の皆様を始め学校関係者等におかれましては、多大なご支援ご協力を賜り心から感謝いたします。



二年生3名・一年生10名で無事に終わることができました。ご来場の皆さんは、生演奏の体感をお土産にされたと思います。新一年生の中に中学校経験者が5名いると聞いていますので、三年生が抜けた人数以上の入部を期待しています。

吹奏楽部OB会事務局
福井 一憲
昭和五十年機械科卒

創立116年 体育大会を世界へ！

平成27年10月10日(土)にて開催予定の小倉工業体育大会をインターネットで生中継します。
詳細は同窓会ホームページ、学校ホームページにてお知らせ致します。

▼全九州高等学校新人陸上競技大会
男子 400mH 優勝
藤井琉成(電子2年)
(大会新記録)
八種競技 第5位
渡邊 凌(電気2年)

「篠崎会」の沿革

木村忠石氏(昭和31年機械科卒)から、篠崎会誕生のいきさつが判る資料が北辰会事務局に届いた。その資料は加来順一氏(大正13年機械科卒)が所有していたもので、同氏の次男・加来正之氏(昭和31年機械科卒)が木村氏の元へ届けてくれていた。

その資料によると、初代篠崎会会長・細野孫植氏(明治36年機械科卒)の挨拶で次のように述べられている。昭和三十年末、三菱セメント黒崎工場の建設が決まり、その工場建設の最高技術顧問として中村倬美氏(明治37年機械科卒)が現地に来られた。それを機会に、主

平成二十七年度創立記念日 OB記念講話

講師(敬称略)・講演題目

井本 義孝(昭和29年機械卒)
・現役八十歳、工業のおちこぼれの話
坂田 繁(昭和31年化工卒)
・鉄づくりにおける化学分析の役割
廣見 健二(昭和35年機械卒)
・後輩への期待
松山 文博(昭和42年機械卒)
・活躍の場は日本、さらに世界へ
白川 真澄(昭和42年電子卒)
・電子部品交換の紹介(真空管からCPUまで)
林 勝男(昭和45年機械卒)
・就職活動を行うにあたって
田中 時彦(昭和46年精工卒)
・実際に漫画を描いてみよう
竹川 均(昭和49年機械卒)
・日本刀を通してみる日本の文化
福井 一憲(昭和50年機械卒)
・最新ボデー構造に込められた様々な新技術

野村 幸司(昭和63年化工卒)
・体のケア、コンディショニング
吉田 和志(昭和63年設備卒)
・花火(仕事)を通じて
西岡 清隆(平成2年化工卒)
・時間の使い方について
播磨 修(平成4年電子卒)
・筋肉と脳について
宮本 晴生(平成6年設備卒)
・なぜ?何のために?
川上 正善(平成10年電子卒)
・起業に必要な、たった1つの考え方とたった1つのもの
中尾 啓太(平成16年電子卒)
・仕事のパートナーといわれる電力会社と私の仕事について
和喜田明彦(平成18年化工卒)
・小倉工業高校の生徒が企業に必要とされる理由
野口 晃平(平成19年電子卒)
・世界一のレースへの挑戦
野崎 拓帆(平成20年設備卒)

として地元同窓で、しかも仕事面において将来の関係をもちたいという人たちの間で同氏の歓迎会を開催したのが発端で、以後毎年十一月に開催されていた。参加者の資格等についての取り決めは特になかった。発足時の事情から割と、自営の方や会社・工場勤務の場合でも対外的に折衝する立場にある方が集まるようになっていた。

昭和四十五年第十七回篠崎会総会で、篠崎会代表は細野孫植氏から、江副喜代次氏(大正10年機械科卒)と佐々木亀氏(昭和02年機械科卒)による二人体制になった。

会員は常時三十人位いたようだ。昭和四十五年には、明治・大正・昭和初期の卒業生が五十名ほどになっていた。

記録はそこまで続いたが、四十六年に加来順一氏の他界で以後途絶えている。【再生期】

教職員の異動

【退職】
▽渡部 英一(英語)
▽田中 武幸(電子機械)
▽光成 智子(電気)

【転出】
▽上杉 人丸(参事兼事務長)
東筑高校へ
▽中野 敏昭(教頭)
戸畑工業高校へ
▽梶原 愛加(国語)
金光学園中学・高等学校へ
▽倉富 和也(英語)
浮羽真真館高校へ
▽松永 佳幸(機械)
八幡工業高校へ

▽新賀 一博(機械)
八幡工業高校へ
▽大内 康敬(機械)
民間へ
▽高倉 麻衣(事務)
福岡教育事務所へ
▽本田 祥子(事務)
若松高校へ

【転入】
▽山本 孝広(事務長)
ひびき高校より
▽小山 繁(教頭)
荏田工業高校より
▽山崎 理一(国語)
北九州高校より
▽麻生耕太郎(英語)
新規採用
▽堀 秀暢(英語)
大学院休学

おしらせ

門司・下関支部総会開催について

毎年四月に行われていた門司・下関支部総会が、都合により今年は九月に行うことになりましたので、お知らせいたします。

【日時】
平成二十七年九月二十六日(土) 十八時三十分

【場所】
プリリアンサ門司港
【問い合わせ先】
徳本 高久
(昭和三十五年機械科卒)
〇九三ー三七一一三三六〇
※多数のご参加をお待ちしています。

卒業五十年記念同期会

昭和四十年卒業の皆さんが、卒業五十周年を迎えるのを記念して、同期会を開催します。

【日時】
平成二十七年十月二十五日(日) 十七時から

【場所】
リーセントホテル小倉
北九州市小倉北区堅町

【問い合わせ先】
奥村 正則
〇八三ー二六六一〇七〇
高祖 昭義
〇九〇ー八八三ー二二六六
村松 武四
〇九三ー二八二ー五五六五
【電気科】
深家 健次
〇九三ー三四二ー一九一八
山之内禎幸
〇九三ー四七三ー〇七二七
【工業化学科】
西岡 進
〇九三ー五六一ー九二七
【電子科】
毛利 建立
〇九三ー九六二ー二〇〇七

北辰会費納入のお願い

【機械工作科】
本間 幸夫
〇九三ー六二一ー二七二一

名簿改訂のお知らせ

北辰会では同窓の絆である名簿の改訂を五年毎に行っています。現在来年二月の発行に向けて、小野高速印刷にお願いして調査中です。出来るだけ正確な名簿の出版を目指しています。皆様方のご協力をお願いいたします。

▽西脇 裕子(英語)
八幡南高校より
▽吉田 勇(機械)
嘉穂特別支援高校より
▽川端 信広(機械)
新卒
▽松本 航(機械)
香椎工業高校より
▽林 孝男(機械)
荏田工業高校より
▽野添 治(電子)
博多工業高校より
▽榎谷 彩乃(事務)
青豊高校より
▽田崎 瑞恵(事務)
新規採用

